

『難病患者のための災害時個別支援計画～基本情報シート～』

の活用について

災害は、いつ、起こるか分かりません。

災害が起こった時に、どのような行動をとればいいのか、日ごろからどういう準備をしておけばいいのかをご自身で、備えておく必要があります。

災害時には、病院や行政機能が麻痺することが懸念されるため、少なくとも被災後 3 日間を『自助』、『共助』で命を守り抜くことが被害を少なくするためには重要であるとされています。

しかし、指定難病受給者証更新時のアンケートなどにより、鹿児島市の難病患者の災害時の「自助」の備えが、まだまだ充分ではない現状であることが分かりました。

そこで、この「難病患者のための災害時個別支援計画～基本情報シート～」を鹿児島市難病対策地域協議会の委員のご意見をもとに作成しました。

このシートを難病患者の皆様が、家族や関係者（主治医、訪問看護師、ケアマネージャー、保健所職員等）の方々と相談しながら、記入することにより、災害時に必要な物品、避難方法、緊急時の連絡先などの情報の整理や共有をすることができます。

このシートは、患者ご自身のものです。

ご自宅の目につきやすいところに貼っていただいたり、『災害時あんしん手帳』や『お薬手帳』などと一緒に携帯されてもよろしいかと思えます。

また、内容が変わった時には、支援者の力も借りながら随時、情報を更新してください。

また、患者本人・家族が了解の上、記載されたシートの写しを関係者（支援者、保健所）に提供していただくと、災害時の支援に活かされます。ぜひご活用ください。

※各シートについて（ **見本** を参考にご記入ください ）

- ①…人工呼吸器・在宅酸素・気管切開・吸引をされている方 用
- ②…医療機器は使わず、医薬品や食事などで療養中の方 用

<お問い合わせ先>

鹿児島市保健所 保健支援課

〒892-8677 鹿児島市山下町 11 番 1 号

電話 099-803-6929